

第73回 理事会議事録

1. 日 時 令和3年11月30日(火) 11時00分～11時50分
2. 場 所 アルカディア市ヶ谷及びWEB会議 (ZOOMシステム)
3. 出席者
- | | | | |
|-------|--------|-------|--|
| 会 長 | 井上 圭三 | | |
| 副 会 長 | 後藤 直正 | 楠 文代 | |
| 常務理事 | 中村 明弘 | 浜岡 純治 | |
| | 加留部 善晴 | | |
| 理 事 | 亀井 美和子 | 元木 和幸 | |
| | 田中 芳夫 | 堅田 利明 | |
| | 佐川 賢一 | 越前 宏俊 | |
| | 岩城 正宏 | 津田 裕子 | |
| | 宮田 興子 | | |
| 監 事 | 富田 基郎 | 市川 厚 | |
| 参 与 | 乾 賢一 | 本間 浩 | |
- (出席理事数 15名)
(会場出席 8名)
(WEB出席 7名)

4. 議事の経過の要領及びその結果

定款の規定に基づき井上会長が議長に就任し、本日の出席理事が15名であり、定款に定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立していることが宣言された。また、議事録署名人として出席理事から、浜岡常務理事を指名し、事務報告の後、議案の審議に入った。

(1) 前回議事録の確認について

前回議事録(第72回理事会:令和3年11月9日開催)について、全会一致でこれを承認した。

(2) 会長及び副会長の職務執行状況の報告について

井上会長から、定款第21条第5項(会長及び副会長の職務執行状況)に基づく報告として、資料3を提出した旨の説明があり、次いで、小池事務局長から内容について報告がなされた後、協議の結果これを了承した。

(3) 令和3年度第2回通常総会の会議次第について

井上会長から、資料4に基づき、午後開催される第2回通常総会の会議次第について説明があった。

(4) 薬学共用試験について

中村常務理事（薬学共用試験センター試験統括委員会委員長）から、資料5に基づき「新型コロナウイルス感染症に伴う特別試験の実施」、「2022年度薬学共用試験実施予定案」及び「改訂コアカリへの対応委員会（仮称）の設置」について説明があり、午後開催される第2回通常総会及び12月10日に開催される全国薬科大学長・薬学部長会議第2回総会へ提案する旨、併せて報告があった。

(5) その他

1) 第7回「日本薬学教育学会大会」の後援名義申請について

乾 参与（日本薬学教育学会理事長）から、資料6に基づき令和4年8月20日（土）、21日（日）の両日、北里大学薬学部で開催される「第7回日本薬学教育学会大会(大会長:岡田信彦北里大学薬学部長) テーマ:薬学人のアイデンティティを探る～自己実現を志向する薬学教育～」について、本協会に対し、後援名義を申請したい旨の説明があり、これを了承した。

2) コアカリ改訂への動きについて

井上会長から、午後開催される第2回通常総会へ報告するコアカリ改訂に向けたこれまでの検討状況について、以下のとおり説明があった。

- ・これまで、コアカリ改訂の議論が、大学関係者に周知されていないことから、12月10日に開催される全国薬科大学長・薬学部長会議第2回総会において、文部科学省が状況報告を行ったうえで、これまで検討されてきた内容を説明し、情報の共有化を図ることとする。
- ・文部科学省は、今回のコアカリ改訂に向けて医学・歯学・薬学の内容の一部共通化を図ることに取り組んでいる。
- ・コアカリ改訂にあたって、医学・歯学・薬学共通の「キャッチフレーズ」が検討されている。医学・歯学は既に公表されているが、本キャッチフレーズの薬学固有の表現については、引き続き検討する。
- ・求められる基本的な資質・能力については、医・歯・薬で各項目の共通化を図るが、薬学独自の部分は別途検討する。

3) 学校法人ガバナンス改革会議での議論に対する対応について

学校法人ガバナンス改革会議で議論されている内容等に関し、本協会として何らかの対応を検討すべきではないか等の発言があり、本協会「学校法人問題検討委員会」で検討することとなった。

議長は、以上をもって議案の全部の審議を終了した旨を述べ、11時50分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事(指名された議事録署名人)、監事がこれに署名捺印する。

令和 3 年 12 月 17 日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議 長 井 上 圭 三
(押印済)

出席理事 浜 岡 純 治
(議事録署名人) (押印済)

出席監事 富 田 基 郎
(押印済)

出席監事 市 川 厚
(押印済)